

# PREMIUM WATER HOLDINGS

2025年3月期 第1四半期 決算説明補足資料

---

株式会社プレミアムウォーターホールディングス  
東証スタンダード：2588

2024年8月8日（木）





PREMIUM WATER  
HOLDINGS

## 目次

- | 経営理念・競争優位性・今後の展開
- | 2025年3月期 第1四半期 業績
- | Appendix
  - (1) 会社概要・事業内容
  - (2) SDGsへの取組み



PREMIUM WATER  
HOLDINGS

経営理念

競争優位性

今後の展開



VISION

自社の活動を通じて人々の生活を豊かに  
そして**世界で一番愛される会社へ**

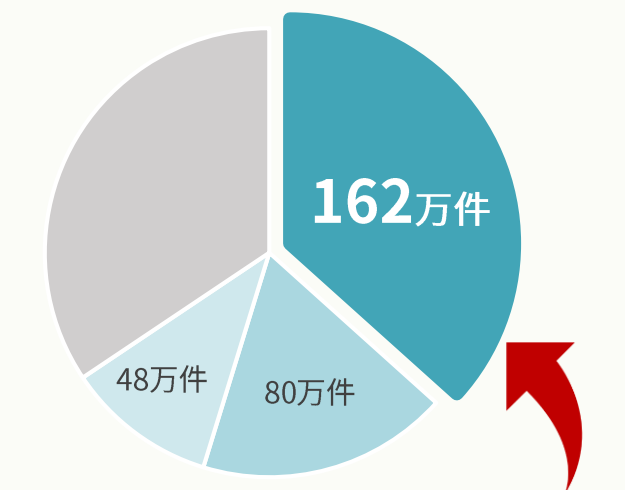
MISSION

**日本の天然水**という唯一無二の価値を日本人に  
そして世界に伝える事で社会的意義を果たし、**地方創生を実現する**

天然水という差別化が難しい商品で、No.1の市場シェア。競争優位を構築・維持する3つのポイント。

宅配水市場顧客数 **No.1**

業界シェア **30.9%**



- プレミアムウォーターホールディングス
- A社
- B社
- その他

※日本流通産業新聞2024年1月11日号より当社作成

**1** 業界No.1の8水源（うち自社工場3ヶ所）

月間**約500万本**（約250万顧客相当）の生産能力を誇り、岐阜北方工場の竣工により、生産能力・生産効率が向上。



**2** 業界No.1の顧客獲得力

**約1,200名**以上の営業員が、全国で日々セールス・マーケティング活動を実施。



**3** 自社物流網の構築で効率的な提供

エリアごとの顧客数純増、定期配送により、十分な物量確保ができることから**配送の効率化を実現**。





業界シェアNo.1の顧客基盤構築に一定成果 → 組織最適化の利益拡大フェーズへ

創業～FY2024 基盤構築フェーズ

安定的な物流や生産体制の構築

顧客基盤の構築

マーケットポジションの確立

FY2024以降 利益拡大フェーズ

施策①

自社物流網の活用と  
自社工場の稼働率増進による  
コスト削減

自社物流比率を約7年間で51.5%まで拡大。地域によって大手配送業者とも提携し、今後は利益追求として適正な比率を維持。加えて、自社工場の増設や設備完備により、販管費・製造原価も減少へ。

施策②

組織の最適化

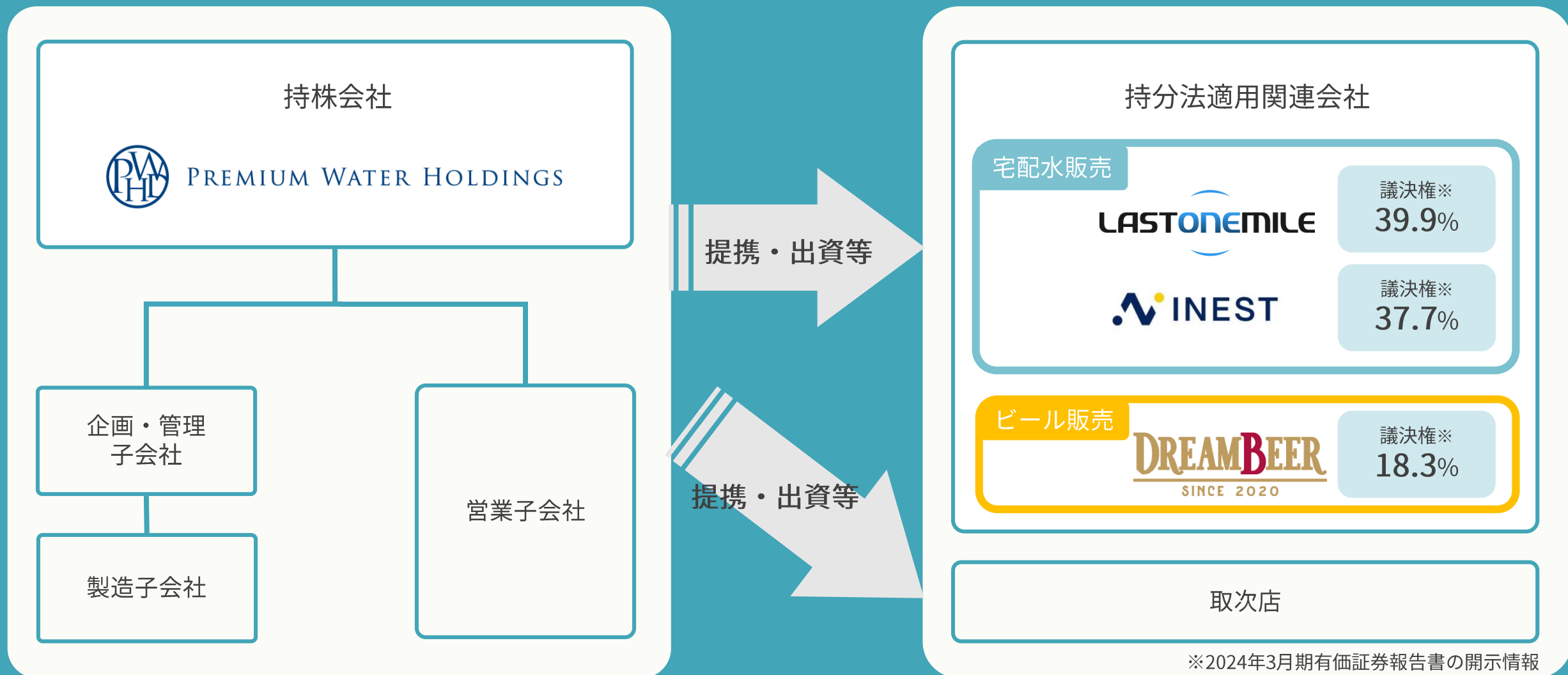
メーカーに特化した事業運営を据え、契約期間の長期化や付帯サービスの充実化等により、利益追求とユーザビリティの向上を狙う。良質なサーバーを開発することで、付加価値を生み出し、顧客満足度も高める方針。

施策③

M&Aや出資による  
利益の向上

OEM供給やM&Aを実施し、当社の営業ノウハウを活かして大幅に顧客数を増やし、利益拡大へ。また、主軸である天然水事業に注力しながらも、その他事業にも出資することにより、グループシナジーを生み出す。

効率的な製造・配送体制を構築しつつ、営業力強化への投資にも注力していく方針。



※2024年3月期有価証券報告書の開示情報



PREMIUM WATER  
HOLDINGS

業績ハイライト



営業子会社の株式譲渡によりモバイル事業に係る売上は減少したものの、  
宅配水事業は堅調に推移し、営業利益が向上。四半期利益は約2倍に。

●第1四半期業績

売上収益 **18,794** 百万円  
前年同期比 **93.7%**

営業利益 **2,927** 百万円  
前年同期比 **200.5%**

親会社の所有者に  
帰属する四半期利益 **1,432** 百万円  
前年同期比 **205.5%**

EBITDA **5,870** 百万円  
前年同期比 **145.6%**

●通期業績予想に対する進捗

進捗率 **24.4%**  
予想 **77,000** 百万円

進捗率 **30.2%**  
予想 **9,700** 百万円

進捗率 **30.5%**  
予想 **4,700** 百万円



1

## M & Aの実施

ビックカメラグループより「宅配水事業」と  
「浄水型ウォーターサーバー事業」を事業継承。

2

## 岐阜北方工場（第2期工事）が竣工

最新設備による高度な自動化を推進し、生産能力・生産効率が格段に向上。  
岐阜北方工場単独で月240万本以上の生産が可能に。



ビックカメラグループより「宅配水事業」と「浄水型ウォーターサーバー事業」を継承。

PREMIUM WATER  
High Quality Water Delivery Service



puhha  
TAPURI



期待される効果



- 保有顧客数の増加
- 販売機会の増加による新規顧客獲得
- 工場の獲得による生産性の向上

岐阜北方工場（第2期工事）の竣工（2024年4月）により、生産能力の更なる増強と製造原価の低減化が可能となる見込み。



生産能力：**240**万本以上/月

※第2期工事前比較：**190**万本増

- 最新設備による高度な自動化を推進し、生産能力・生産効率が格段に向上。
- 顧客の純増を背景に、自社工場を高い稼働率で運用させることで製造原価の更なる低減化を図る。



PREMIUM WATER  
HOLDINGS

2025年3月期 第1四半期 業績

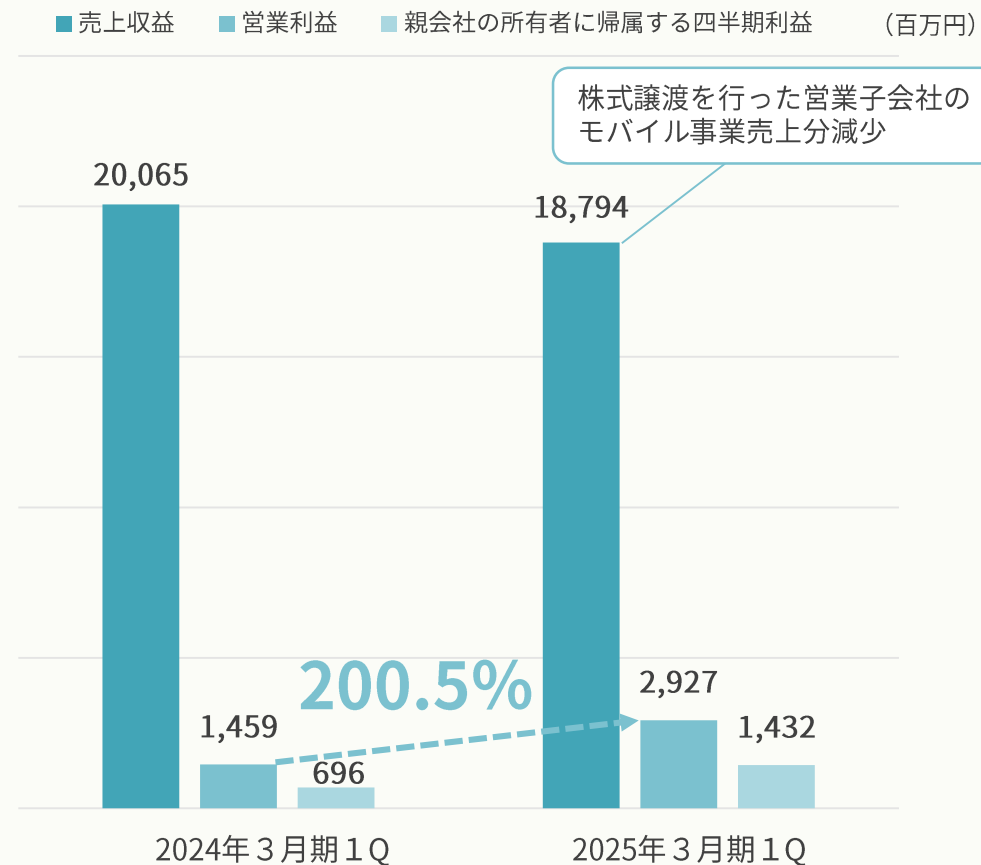


営業利益は前年同期比で約2倍に増加。

前期に株式譲渡を行った営業子会社のモバイル事業に係る売上収益分が減少。

(百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前年同期比
売上収益	20,065	18,794	93.7%
売上総利益	16,828	15,916	94.6%
営業利益	1,459	2,927	200.5%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	696	1,432	205.5%
E B I T D A (営業利益+減価償却費)	4,031	5,870	145.6%





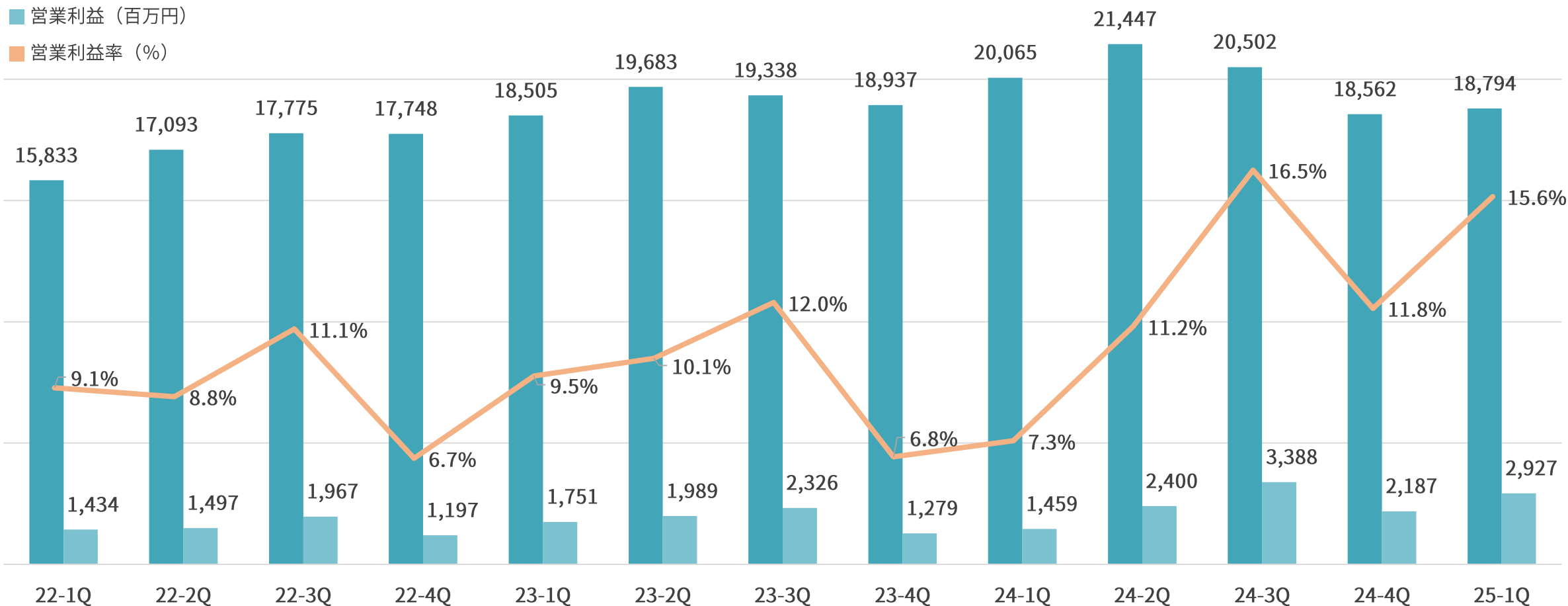
# 売上収益・営業利益の推移



■ 売上収益 (百万円)

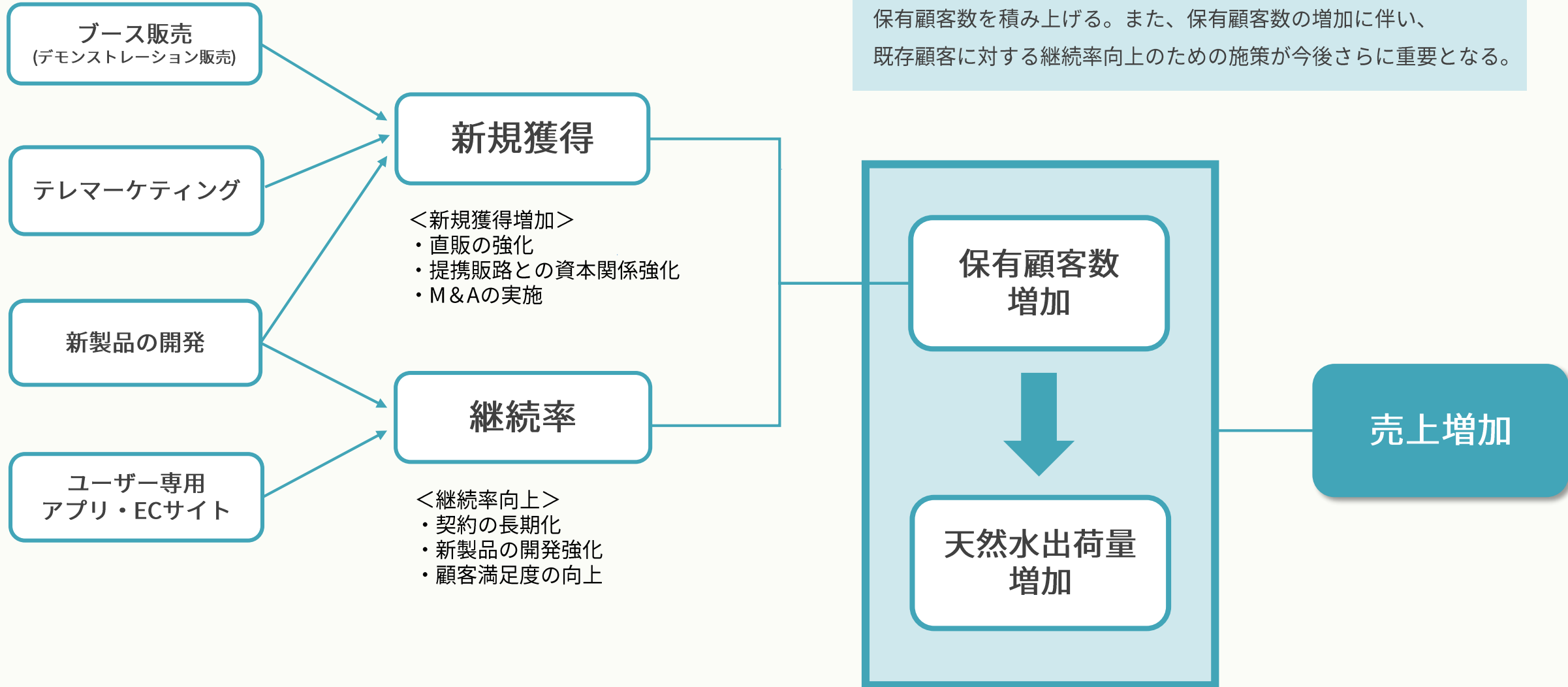
■ 営業利益 (百万円)

■ 営業利益率 (%)



毎期4Qは取次店等に対する手数料の支払いにより、1~3Qと比べると営業利益・営業利益率ともに減少

《特殊要因》  
営業子会社の株式譲渡による利益：797百万円



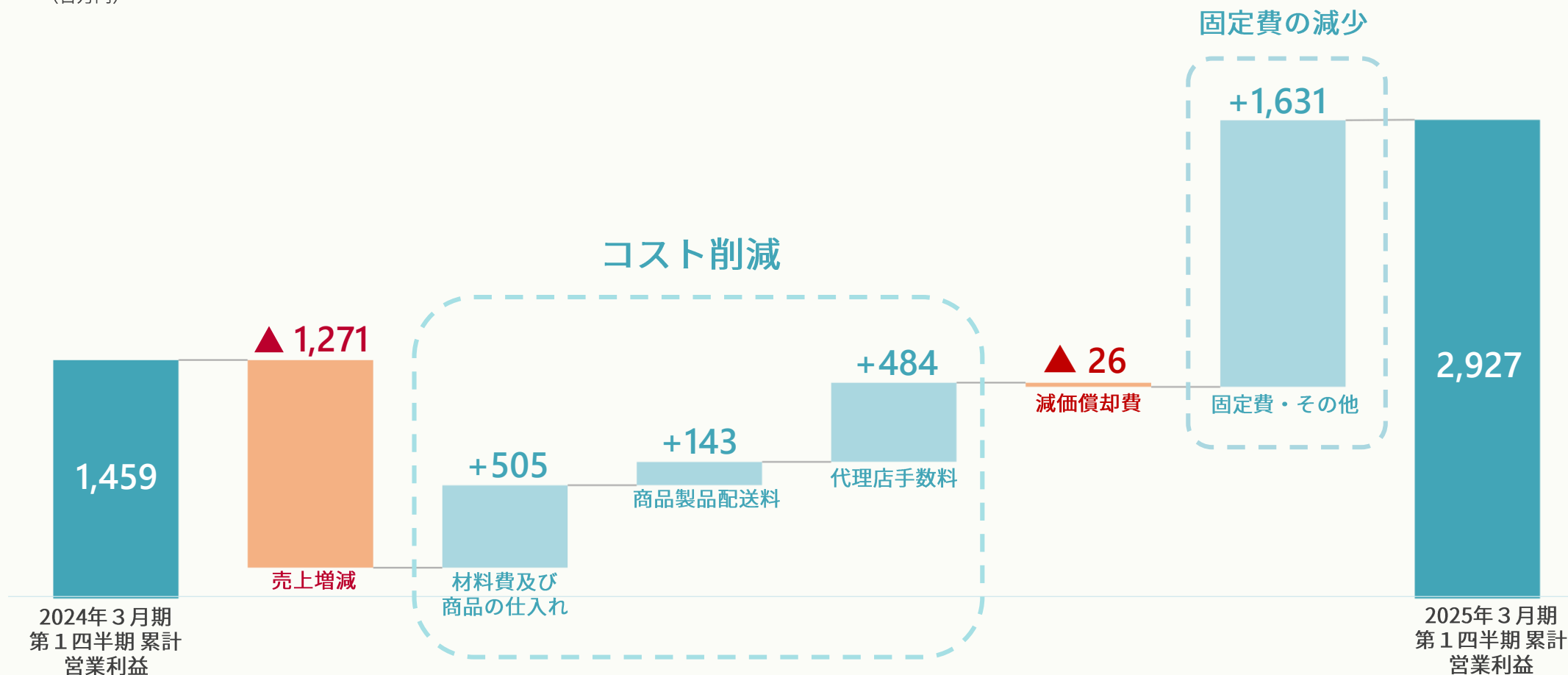
新規顧客獲得に加え、既存顧客の継続率を向上させることにより保有顧客数を積み上げる。また、保有顧客数の増加に伴い、既存顧客に対する継続率向上のための施策が今後さらに重要となる。





獲得コストの効率化及び物流施策やコストの見直し等により、営業利益は約2倍へと増加。

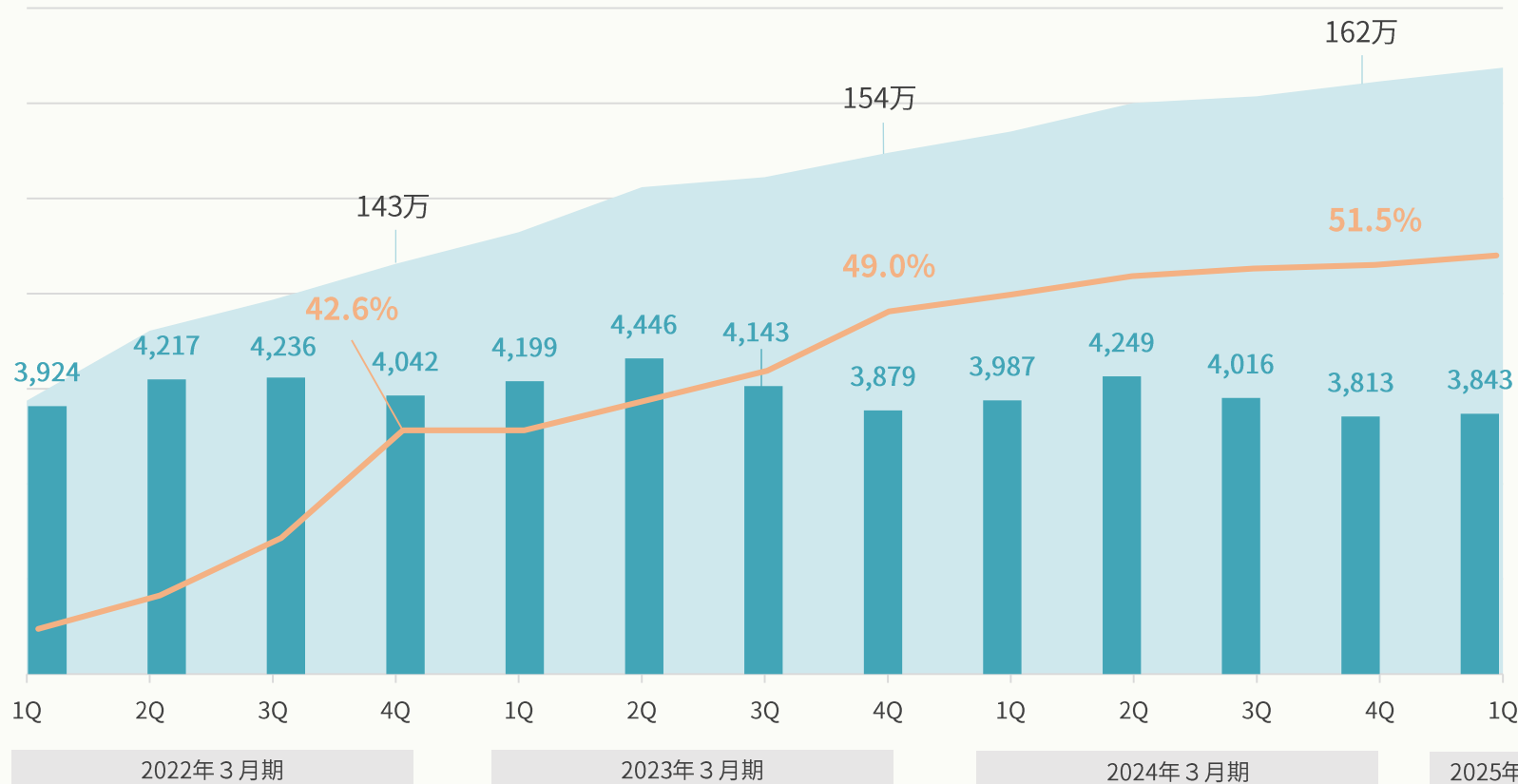
(百万円)





2024年物流問題 働き方改革関連法等による物流費の上昇を抑えるため、自社物流<sup>※</sup>比率を向上させ、物流コストを軽減。保有顧客数に伴う物流量は増加するも物流費は減少。

保有顧客数 (件) 物流費 (百万円) 自社物流比率 (%)



**自社物流<sup>※</sup>比率**

2019年3月期 18.7%

▼

2024年3月期 **51.5%**

※当社の配送管理システムに参加している配送パートナー



関連会社との取引に係る未実現利益消去等の影響により、持分法による投資損益はマイナス。  
顧客獲得に注力することで、今後のPWHグループ全体としての収益最大化を目指す。

(百万円)

	2024年3月期 第1四半期累計期間	2025年3月期 第1四半期累計期間	増減	前年同期比
営業利益	1,459	2,927	1,467	200.5%
金融収益+金融費用	▲201	▲183	18	—
持分法による投資損益	▲72	▲312	▲240	—
税引前四半期利益	1,186	2,431	1,245	205.0%
法人所得税費用	▲489	▲1,000	▲511	—
非支配持分	0	1	1	—
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	696	1,432	735	205.5%



自己資本比率は安定的に推移しており、増配を継続。

新規ウォーターサーバー調達によるリース債務の計上により、有利子負債も増加。

(百万円)

	2024年3月期	2025年3月期 第1四半期	増減
流動資産	44,801	42,434	▲2,366
現金及び現金同等物	30,561	26,869	▲3,691
営業債権及びその他の債権	11,064	11,608	543
棚卸資産	1,108	1,603	494
その他	2,065	2,352	286
非流動資産	54,605	58,107	3,502
有形固定資産	29,503	30,955	1,452
無形資産	2,637	2,792	155
契約コスト	11,480	11,763	283
その他	10,984	12,595	1,610
総資産	99,406	100,542	1,135

(百万円)

	2024年3月期	2025年3月期 第1四半期	増減
負債	76,636	77,774	1,137
流動負債	28,256	28,345	88
営業債務及びその他の債務	14,545	14,833	287
有利子負債	11,458	11,971	513
その他	2,253	1,540	▲712
非流動負債	48,379	49,428	1,048
有利子負債	48,036	49,079	1,043
その他	343	349	5
資本	22,770	22,768	▲2
株主資本	22,753	22,752	▲0
その他	16	15	▲1
負債及び資本合計	99,406	100,542	1,135

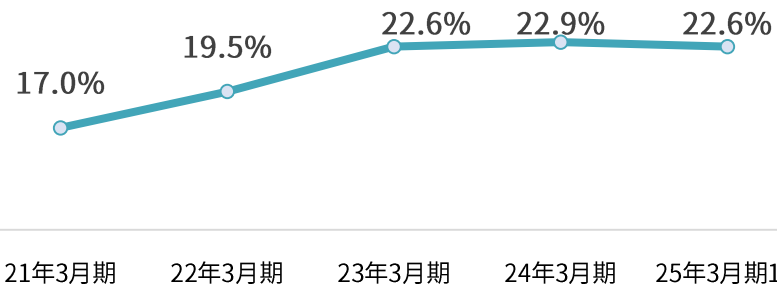
(百万円)

	2024年3月期 第1四半期累計期間	2025年3月期 第1四半期累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,471	3,567
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,939	▲4,553
フリー・キャッシュ・フロー	7,411	▲986
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,829	▲2,721
現金及び現金同等物の期末残高	29,335	26,869

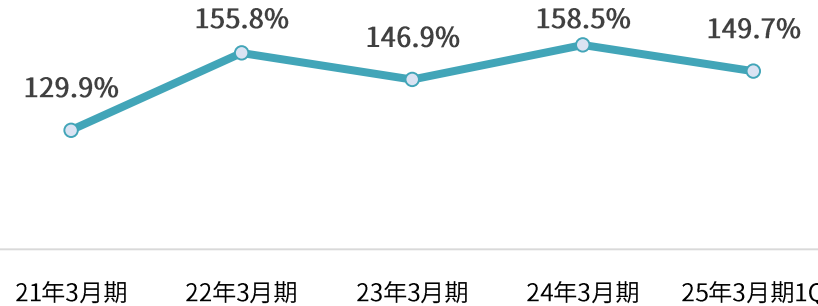


自己資本比率は引き続き、20%を超え推移。流動比率も安定して120%超を維持。

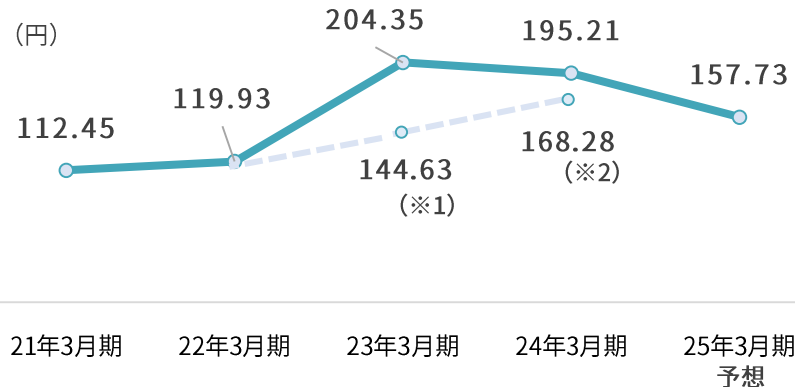
● 自己資本比率



● 流動比率



● 基本的1株当たり当期利益 (EPS)



ROE **20.7%** (2025年3月末予想)

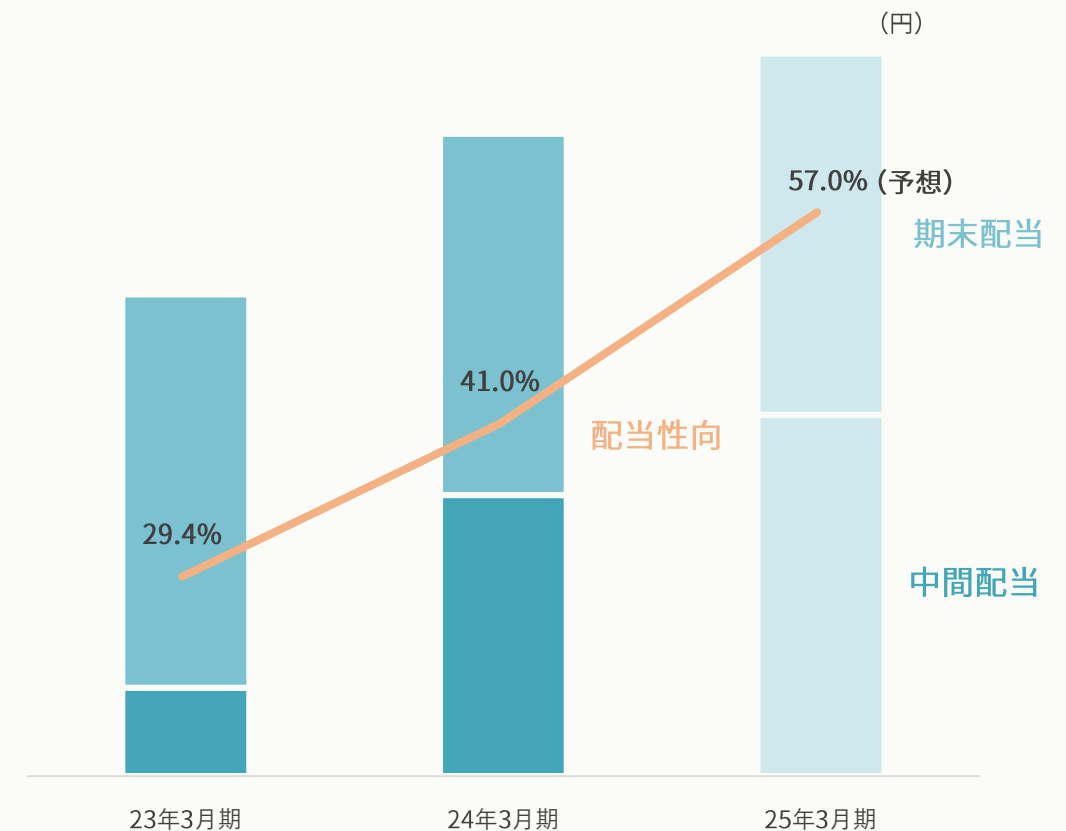
ROA **4.7%** (2025年3月末予想)

- ※1 2023年3月期において、当期利益は6,057百万円でしたが、特殊要因として繰延税金資産の計上分1,753百万円を含んでおりますので、その特殊要因を除いた当期利益は4,304百万円でした。
- ※2 2024年3月期において、当期利益は5,777百万円でしたが、特殊要因として子会社譲渡の売却益797百万円を含んでおりますので、その特殊要因を除いた当期利益は4,980百万円でした。

配当に関しては、内部留保や設備投資への成長投資とのバランスを考慮しながら安定的な増配を継続する方針。また、2024年5月には計5億円の自社株式の取得を決定。（2024年5月～2024年12月に実施）

(円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (予想)
中間配当 (基準日：9月末日)	11.00	35.00	(45.00)
期末配当 (基準日：3月末日)	49.00	45.00	(45.00)
合計	60.00	80.00	(90.00)





PREMIUM WATER  
HOLDINGS

## Appendix

(1) 会社概要・事業内容





会社名	株式会社プレミアムウォーターホールディングス
設立	2006年10月13日
所在地	<東京本社> 東京都渋谷区神宮前1-23-26 神宮前123ビル5階  <本店> 山梨県富士吉田市上吉田4597-1
代表者	代表取締役社長 金本 彰彦
従業員数	848名（役員、臨時従業員含まない） ※2024年3月31日現在
資本金	4,720百万円 ※2024年6月30日現在
事業内容	自社ブランド「PREMIUM WATER」を中心とするミネラルウォーターの 宅配事業を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務
主要なグループ会社	プレミアムウォーター株式会社 プレミアムウォーター中部株式会社 プレミアムウォーター朝来株式会社 プレミアムウォーター富士株式会社 株式会社LUXURY 株式会社PWリソース 株式会社ライフセレクト SINGAPORE FLC PTE.LTD

各地の水源から採水したナチュラルミネラルウォーター（天然水）をワンウェイ方式で宅配するホーム・オフィス・デリバリーを主な事業として展開しています。

### 日本各地の採水地

全国8ヶ所（自社工場3ヶ所を含む）から天然水を採水



### 宅配便で定期配送

2本1セットで配送  
→ 税込3,974円（1,987円/本）※



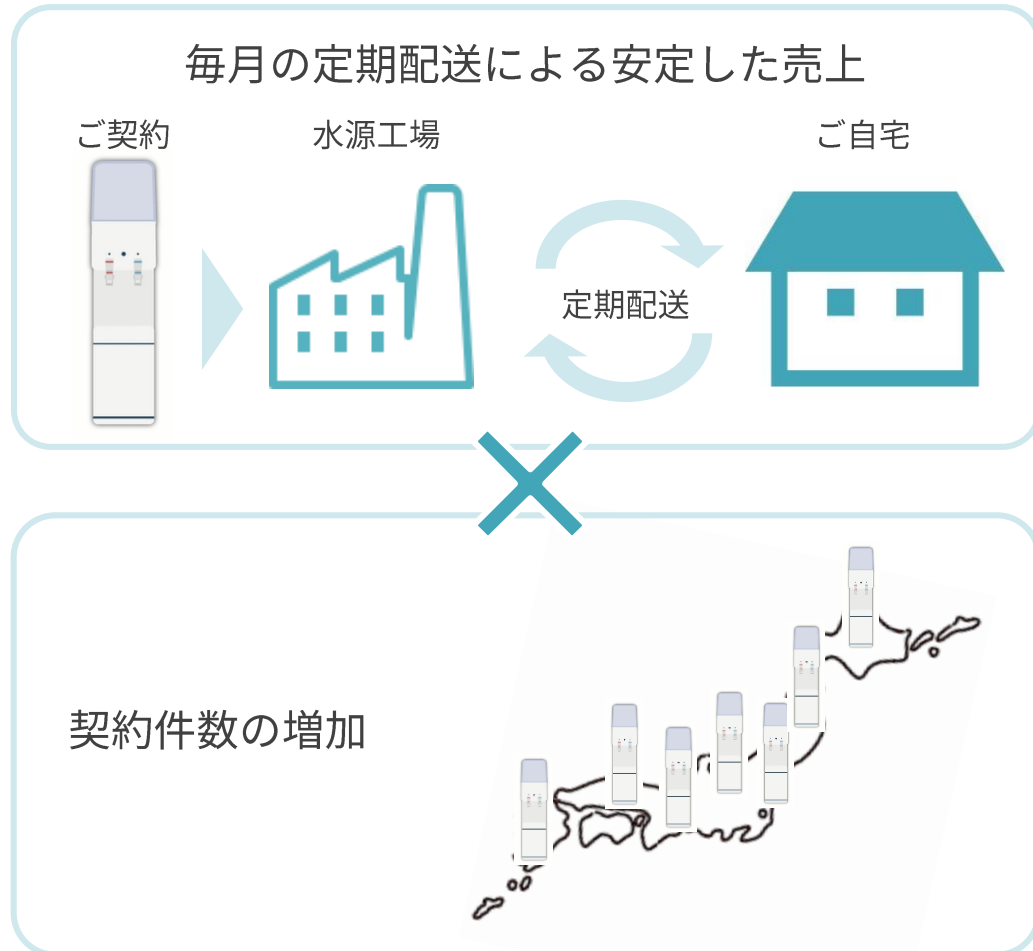
### ご家庭へお届け

ご希望の配送日を指定してお届け  
ペットボトル容器は家庭から資源ごみとしてリサイクル



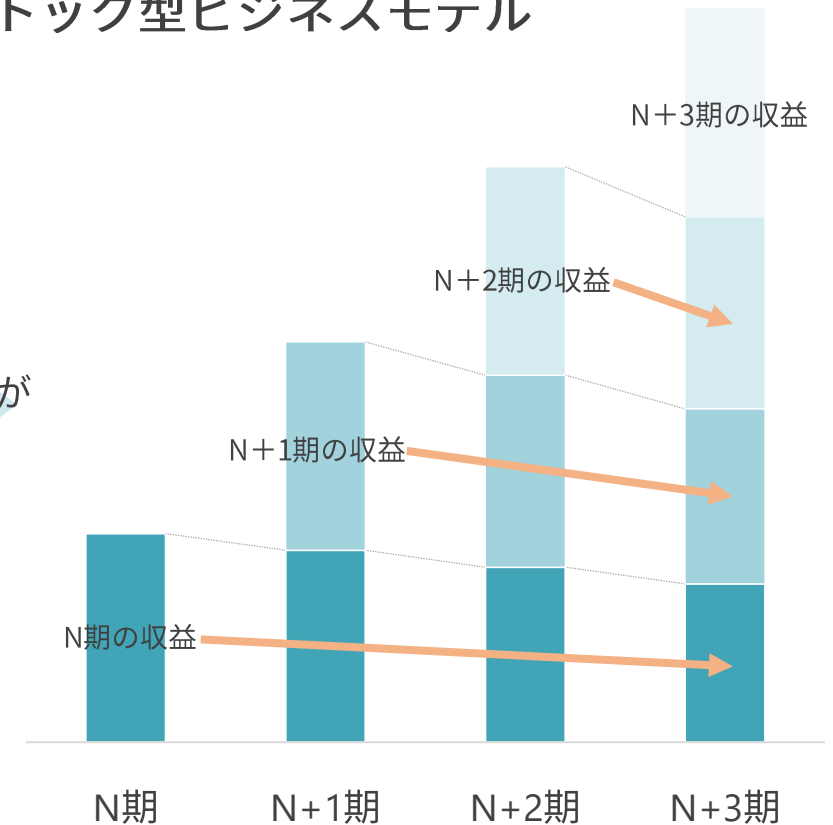
※2024年4月以降に新規ご契約の場合は、2本1セットで税込4,082円（2,041円/本）

顧客の増加により確実に収益増加が見込める、安定性の高いビジネスモデル。



顧客1件あたりの獲得コストが一定水準であれば

ストック型ビジネスモデル





PREMIUM WATER  
HOLDINGS

## Appendix

### (2) SDGsへの取組み



## こども食堂へのお米寄付



貧困や孤食という問題を抱える子どもたちの食が少しでも豊かになることを目的に、貧困家庭や孤食の子どもに食事を提供する「子ども食堂」に自社富士吉田で収穫したお米を寄贈しました。

## 小学校での出張授業



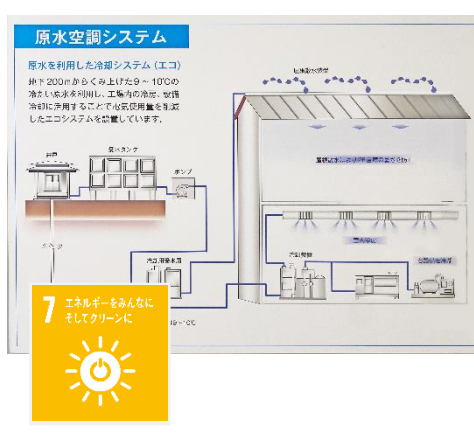
小学校から行われるキャリア教育の一環として出張授業を実施しています。天然水を取り扱う企業だからこそ伝えられる「お水や自然の大切さ」と「日本の天然水という価値ある資源を未来に残していくために、自分たちにできることは何か」を子どもたちに自由な発想で考えていただきます。

## 災害時の支援・復興サポート



山梨県富士吉田市、兵庫県朝来市と「災害時における飲料水の供給に関する協定」を締結しており、災害発生時に被災者に飲料水の提供が必要となった場合、無償供給およびサーバーの無償貸与を行います。他にも、西日本豪雨による被災地支援品の寄贈、熊本地震における義援金寄付、熊本復興支援イベントの開催等を行い、「令和6年能登半島地震」においても、被災地支援を行っています。

## 地下水の利用



富士吉田工場では、地下水200mからくみ上げた9度～10度の冷たい原水を利用し、工場内の冷房・設備冷却に活用することで電気使用料を削減したエコシステムを設置しています。

## 安心安全のナチュラルミネラルウォーター



同社グループの製品（ナチュラルミネラルウォーター）は、一般の公的基準よりも厳しい自社基準を設け、1日に10数回に及ぶ自主的な検査（水の微生物検査、理化学検査、官能検査）と定期的な放射線物質の検査を実施しています。また、赤ちゃんのからだにもやさしい「軟水」を提供しています。

## PETボトルの軽量化



PETボトルの構造を変更し、従来より20%軽量化（プラスチック使用量削減）したボトルに順次入れ替え、2020年4月現在全水源の97%で軽量化を実施済みです。

## 公平な人事制度・ジェンダー平等への取り組み



人事考課での公平性を確保するために、人事ポリシー・考課制度を再整備しています。また、産前産後休業や育児休業・育児休業給付、育休中の社会保険料免除のほか、制度の周知や情報提供を行っています。

## 森林整備活動（西桂地区）



地域の水資源育成に向け、水源涵養機能の高い森が、良い水資源を生み、豊かな食生活を生むという考えから、西桂工場のある山梨県の西桂地区において健全な森を作る間伐等の整備を行っています。



### 1. 掲載された情報についてご注意いただきたい点

当資料を通じ、財務情報、経営指標等の情報の開示を行います。当社は、当資料を通じて情報開示を行うにあたり細心の注意を払っておりますが、当資料に掲載した情報について内容の正確性等を保証いたしません。当資料による情報開示は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身の判断でお願い致します。当社は、当資料に掲載された情報を利用したことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

### 2. 将来の見通しに関する事項について

当資料に掲載されている情報には、業績予測等の将来の見通しに関する記述が含まれていますが、これらはリスクや不確実性を内包するものです。業績予測等の将来の見通しに関する記述は、その実現性を保証するものではなく、当社を取り巻く経営環境や市場動向の変化等により、実現しない可能性があることにご注意ください。

### 3. 当資料の運用について

当資料は予告なく配布の中止や内容の変更を行うことがあります。当社は、当資料を利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

<お問い合わせ先>

株式会社プレミアムウォーターホールディングス IR担当

メールアドレス：ir@premiumwater-hd.co.jp



PREMIUM WATER  
HOLDINGS